

9月の衛研検査情報

～トピックス～

食品中の動物用医薬品検査結果(平成30年4月～7月)

平成30年4月から7月までに健康福祉局食品専門監視班が収去及びインターネットで購入した食品の検査結果を報告します。

主な結果 30検体の食品(畜産食品13検体・魚介類等17検体)を検査したところ、ヒラメ1検体から、検出されてはならない合成抗菌剤のフラゾリドンが0.013ppm検出されました(基準値 不検出)。他の食品は全ての項目で不検出でした。

アレルギー物質を含む食品の検査結果(平成30年7月)

現在、食物アレルギーの原因となることが知られている原材料のうち、発症数が多いものや重篤度の高いもの7品目(卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに)が特定原材料として指定されています。加工食品等にこれらの特定原材料を含む場合、その旨を表示することが義務付けられています。しかし、表示の記載漏れや混入(コンタミネーション)等により、食物アレルギーをもつ人がその食品を食べることで、じん麻疹、下痢、呼吸困難などのアレルギー症状を引き起こし、中には死に至るケースもあります。そのため、横浜市では主に特定原材料の表示がない食品の検査を行い、食品の安全を確認しています。

主な結果 平成30年7月に健康福祉局食品専門監視班がインターネットで購入した24検体の食品について、検査を行いました。その結果、すべて陰性(10ppm未満)でした。

海水浴場水質調査結果(平成30年度)

金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。環境省の通知に基づき、5月と7月に水質調査を行いました。

主な内容 環境省の定める水浴場水質判定基準(適・可・不適)で「可(水質B)」と判定されました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成30年8月は、電子パンフレット「疥癬(かいせん)ってなあに?」、大麻(マリファナ)、水痘(水疱瘡)・帯状疱疹に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は141,958件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページをご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。